

「ドンドン語ろう！ in東部」 平成29年11月17日 東区役所3階すこやかホール 意見交換内容 参加者：23名

No.	ご意見	回答	局	担当課
1	<p>(1) 認可外保育所への支援について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・現在、認可外保育所に子供を預けている。認可外保育所はあまり助成が受けられないので苦しい思いをしている。私たちは、認可保育所の空き待ちではなく、教育方針に魅かれて、そこを選んで入所した。認可保育園を利用している人たちと同じように助成や補助などのサポートが欲しい。</li> </ul>	<p>【市長】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「認可」と「認可外」については、現在、国でも議論をしているようだ。</li> <li>・運営費の補助というものはないが、認可外保育所に対する助成については、職員研修費、健康診断費、医薬品・衛生品費、防災関係の備品など、順次、拡大を図っている。さらに、保育の質や児童の処遇向上、乳児保育や障害児保育を実施している施設に対しては、一定の条件のもとで新たに助成を開始した。今後も認可外保育施設補助金の活用促進を図りたい。</li> <li>・さまざまな子育て環境を整えていく必要があると思う。特に処遇改善につながる場所は、認可・認可外を問わず、さまざまなことをしていかなければならない。国でも大きく動きがあると思うので、そうした制度をいち早くキャッチアップして頑張っていきたい。</li> <li>・認可外保育所の運営者の方などが、具体的な要望に来られることがよくあるので、そういったお話もお聞きしながらやっていきたい。</li> </ul>	健康福祉局	保育幼稚園課
2	<p>(1) 小規模自治会の活動の拡大方法について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・町内が小さく、自治会加入者が500戸までいかない。町内会費の収入も少なく、補助金も少ない。町内のコミュニケーションを図るためにイベント等をしたいが、少ない予算の中で小規模でしかできない。何とかできないものかと考えている。</li> </ul>	<p>【市長】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・小規模な自治会では町内会費が少ないという問題がある。</li> <li>・他の地域との連携などができるといいのではないかなと思う。</li> </ul> <p>【東部まちづくりセンター地域担当職員】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・他の校区では事務局を一つにして経費を抑えている例もある。どこの町内でもできることではないが、そのように負担軽減をしていくやり方はあるのかなと思う。</li> </ul> <p>【市長】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・横との連携なども含めてアレンジしてもらえたらと思う。</li> <li>・自主自立の地域づくりといっても、例えば、最低限のことについては少し自治会の方にお任せする経費を制度的に作るなど、将来的には考えられるのではないかな。</li> <li>・地域の財源に関しては、例えば地域の民間企業等に少しずつでも寄付をお願いし、それを基金にして地域の活動に使っている例もあると聞いている。</li> </ul>	市民局	地域活動推進課

「ドンドン語ろう！ in東部」 平成29年11月17日 東区役所3階すこやかホール 意見交換内容 参加者：23名

No.	ご意見	回答	局	担当課
3	<p>(1) ごみステーションの移転先の確保について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地震に伴い、ごみステーションの移設が必要になった。</li> <li>・交差点から5メートル以内には設置できない等の制約があるが、京塚は小さいところなので、指定に合う設置場所がない。</li> <li>・聞いた話では、玄関の前からゴミを収集車がとっていくところ、ごみステーションが用水路の上に設置されてるところ等があるようだ。</li> <li>・設置できるよう、何か新しい考えがあれば示してもらいたい。</li> </ul>	<p>【資源循環部長】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・道路交通法上、交差点から5メートルまでは収集車を停車できないという警察からの指導を受けている。すでに設置されているものを廃止することは厳しい状況だが、基本的には交差点から5m以内にごみステーションを設置することはできない。</li> <li>・行き止まりに収集車を頭から入れてバックで出ていくというのは安全面で問題があるため、できれば通り抜けができる方法をやっていただきたいと考えている。</li> <li>・しかし、状況によってはやむを得ないこともあるため、職員が確認し、認めることもある。</li> <li>・東部クリーンセンターの啓発推進員にご相談いただき、実際に町内の現状を見ただうえで、何か良い方法がないかということを検討させてもらいたい。本庁の担当は、ごみ減量推進課。</li> <li>・用水路の上での設置は、占用（使用）許可が難しいと思われる。</li> </ul> <p>【市長】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域担当職員と一緒に取り組むべき課題かと思う。早く解決していきたい。</li> </ul> <p>【東部まちづくりセンター・東部クリーンセンター 追記】【対応経緯】</p> <p>「ドンドン語ろう！ in東部」の2、3日後に、尾ノ上校区自治会長立会いの下、東部まちづくりセンターと東部クリーンセンターでごみステーションの現状を把握し、会長へ移設の提案を行い、自治会長が関係住民と相談の上検討することになった。後日、自治会長から、隣接自治会と周辺住民の協力で、別のステーションに排出（分散）することで解決済みとの連絡があった。</p>	<p>環境局</p> <p>(都市建設局)</p>	<p>ごみ減量推進課</p> <p>東部クリーンセンター</p> <p>(土木管理課)</p>
3	<p>(2) 地域公民館の耐震性について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・昨年の地震の際、町内公民館に避難したいという要望があがったが、築年が古く耐震性に自信がなかったため、避難を受け入れることができなかった。</li> <li>・しかし、指定避難所（学校等）までが遠い場合、高齢者等のことを考えると町内公民館が避難所として利用できればよいのかなと思う。</li> <li>・そこで、避難所としても使えるよう、市からの助成もあるがほぼ町費だけでまかなっているので、市から維持に係る予算をいただけないか。</li> </ul>	<p>【危機管理総室】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・指定避難所には職員を配置している。町内公民館まで配置すると職員の数が足りないが、実際には一時的にそこに避難されることがあるだろう。</li> <li>・今、校区防災連絡会を各校区で立ち上げる中で、地域の皆さんが、ここはそういう風に使おうという計画を定め、実際に災害時にそこに皆さんが集まることは可能。</li> <li>・その場合でも、建物の安全性については、考慮する必要があるかと思う。</li> </ul> <p>【市長】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・校区防災連絡会で話し合いをしていただき、一時的にはまずここに寄って、次にこっちに避難しようというルールをあらかじめ決めておくというのではないか。</li> <li>・指定避難所であっても、先の熊本地震では20数箇所使えなかった。臨機応変に地域でさまざまなやっていかなければならないということがあるだろう。</li> <li>・専門的なアドバイスは市の危機管理部署からできるので、まずは地域の皆様で話し合って決めていただければと思う。</li> </ul> <p>【地域活動推進課 追記】</p> <p>地域公民館長から建物の耐震性を心配する声があがっている。地域住民が安心して暮らし、災害時には互いに支えあえる環境づくりのため、来年度は、地域公民館の耐震化費用に対する一部助成制度について、検討している。</p>	<p>市民局</p> <p>政策局</p>	<p>地域活動推進課</p> <p>危機管理防災総室</p>

「ドンドン語ろう！ in東部」 平成29年11月17日 東区役所3階すこやかホール 意見交換内容 参加者：23名

No.	ご意見	回答	局	担当課
4	<p>(1) バス停へのイスの設置について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢者等が病院や買い物行きたいときに、バス停で待つためのイスがない。イス設置についてバス事業者へ働きかけをお願いしたい。</li> <li>これから先、超高齢社会が進み、自動車運転免許返納が増えてくる。バスを待っている時間が非常につらいという声を聞いている。</li> </ul>	<p>【市長】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・バス事業者の方と会うときは、バス停改善の働きかけをやっている。</li> <li>・道幅が狭いところにはベンチが置けないが、例えば、その近くにスペースのあるお店等がある場合、バス停を移動できないか、などやり取りをしたことがある。</li> <li>・今後もバス事業者の方々とお話をし、改善するように、私達ができることと、バス事業者に協力していただくこと、両方あると思うので、頑張っていきたい。</li> </ul>	都市建設局	交通政策課
4	<p>(2) 自衛隊通りの通学路の整備について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自衛隊通りの県健康センターから自衛隊の方に向かう歩道だが、桜並木の桜が大きくなったため歩道が狭くなり、歩行できない。</li> <li>・近くでは市民病院の工事があるので、小学生も中学生も、一度、第二空港線に回って、それから左に曲がって自衛隊通りを健軍方面に下って来てまた入ってくる。</li> <li>・雨の日は、傘をさしたら通りづらいし、そこに自転車が来たらもう通れなくなるため、早急に改善してほしい。</li> </ul>	<p>【東部土木センター所長】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・桜の木は植樹後50～60年経っている状態。痛んでいる木が増えている。</li> <li>・樹木医を入れて危険木から随時除去し、また植え替える作業をやるという内容で、検討会を進めている。</li> <li>・木が邪魔になって通学路に支障があるということについては、随時、邪魔になるような木の枝、その他を剪定しようと思っている。</li> <li>・新しい市民病院建設が着工するところなので、歩道の確保をどうしたらいいのかということを考えていきたい。</li> <li>・手法としては、水路の上に床板を設けて、歩道を広げるにはいいのだろうと思う。ただ、技術的な検討などが必要。</li> </ul>	都市建設局	東部土木センター道路課
	<p>(3) 新しい市民病院周辺の交通処理について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市民病院ができた場合、市電がどうなるか分からないが、付近の渋滞がどうなるかが当自治会と地域住民が一番心配している課題である。</li> <li>・唯一右折左折ができるのが自衛隊通りのところだけで、その他は一方通行と聞いている。交通渋滞への対応をお願いしたい。</li> </ul>	<p>【市長】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市民病院の移転先を決定するに際し、さまざまな課題を検討してきた。交通事故がおきないように、渋滞を引き起こさないように等、交通処理もその一つで、しっかり検討をしている。</li> <li>・病院利用者のピークの時間帯は、交通渋滞の時間帯と少し違う。例えば、朝の渋滞時間が落ち着くころから、夕方の渋滞時間より前にピークが来るといったデータもあり、調査しながらやっている。</li> <li>・駐車場は中敷地内に造るので利便性は高くなると思う。従来よりも駐車場をかなり広くとっている。</li> </ul>	都市建設局 病院局	交通政策課 新病院開設課

「ドンドン語ろう！ in東部」 平成29年11月17日 東区役所3階すこやかホール 意見交換内容 参加者：23名

No.	ご意見	回答	局	担当課
5	<p>(1) 学校でのフッ化物洗口の実施について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・私は、8020推進健康づくりの会の会員である。</li> <li>・熊本県の場合は平成25年度からフッ化物洗口を始めたが、熊本市ではまだ実施されていない。熊本は虫歯率がワースト。熊本市も健康づくりのため、子どもの健康のために早くフッ化物洗口を実施して、虫歯予防をもっと徹底してほしい。</li> </ul>	<p>【市長】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本市も8校で実施している。</li> <li>・熊本市は大規模校が多いので、時間帯が集中する中で同時に行うことなど、制約もある。</li> <li>・どのようなタイミングでやるか、8020推進員のサポートもしながら、さらに来年度は実施校が増えていくと思う。</li> <li>・県の条例は、私が提案者の一人。</li> <li>・虫歯の罹患率は、政令市のなかで3歳児のむし歯有病率ワースト1。フッ化物洗口の推進は大事だが、フッ化物洗口だけではなく、ブラッシングの指導や、歯と口腔の全般的な健康教育、保健教育を進めていかないと意味がない。</li> </ul>	健康福祉局 東区役所	健康づくり推進課 保健子ども課
6	<p>(1) 街路樹の管理について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・中央分離帯の街路樹が伸び放題で反対側の道路が見えないところがある。</li> <li>・第二空港線は国内外の観光客が通るところ、伸び放題の街路樹があるということは非常に見苦しい。そういうところは特に、観光立県として、観光都市しても面目を果たすような街路樹管理をしていただきたい。</li> <li>・町内にある街路樹の剪定は、一年に一回程度であり、それもこちらから言わないと実施されない。きちんとやっていただきたい。</li> <li>・道路はまちづくりにとってとても大事。伸び放題の街路樹があると子どもたちの心にもいい影響を与えない。</li> <li>・業者ができないならば、町内の街路樹であれば、まだ元気な高齢者を活用したらどうか。</li> <li>・自衛隊通りの桜並木を大事にしないといけない。土木センター、健軍、健軍東、尾ノ上と一緒に、見事な桜並木をまた、復活させたいと思っている。</li> <li>・ところがそのツツジもほったらかし状態。こういう木にも手を入れていただきたい。</li> <li>・交通量の多いところは、地域の高齢者では危ないので業者でやっていただく。そして2回3回と、お金もいることだろうが、見苦しくないような状態を保っていただきたい。</li> </ul>	<p>【市長】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・剪定できておらず見通しが悪い交差点を見かけると、携帯で全部写真を撮って都市建設局長に送っている。市長に就任後からずっとやっている。みんなで考えることが大事。</li> <li>・安全面、観光面で問題があるので、この対策を今年から考え始めている。今まで、発注するタイミングもいろいろあったが、それをできるだけ効果的に、のびる前の時期に刈ってしまう。場所によっては交差点の真ん中あたりだとか、ポウポウとのびるようなところは低い樹種に替えていくとか、あるいはそこは埋めていくということなどを検討している。</li> <li>・公園や近所の雑草については、ぜひ、町内の皆さん、企業、団体、お店、事務所、そういった方々に協力をお願いして清掃をして簡単な管理をしていただくような取組をやっていききたい。</li> </ul>	都市建設局	東部土木センター

「ドンドン語ろう！ in東部」 平成29年11月17日 東区役所3階すこやかホール 意見交換内容 参加者：23名

No.	ご意見	回答	局	担当課
7	<p>(1) 児童館の充実について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自宅が一番近い東部児童館と秋津児童館には行かず、益城町か城南の児童館に行っている。</li> <li>・熊本市内の児童館では、電池で動くおもちゃに電池が入っていない。10年以上前からその状態になっている。</li> <li>・職員は忙しいようで、カウンター内で自分の仕事をしており、子どもや保護者に声かけすることはめったにない。話を聞いてほしいなと思っても、なかなかこちらから話しかけられない。</li> <li>・東部児童館にはコーナーは作ってあるが授乳室がない。布で簡単に隠してあるだけ。</li> <li>・東部児童館にはベビーベッドが置いてない。現在、探していると聞いている。</li> <li>・飲食できるスペースがない。</li> <li>・児童館の年間予算が14か所で約120万円と聞いた。児童館への予算があまりにも少なく思う。</li> <li>・子どもに関するサービスや対策についてどう考えているのか伺いたい。</li> </ul>	<p>【市長】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・飲食できるスペースなど、できるだけ保護者の方も子どもさんも安心して利用できるようなことを考えていかなければいけない。できる改善はやっていきたい。</li> <li>・お母さんたちがコミュニケーションをとったり、少し、子育てで悩むことがある時に、児童館に気軽に来ていただくことがプラスになっていくようなことをしたい。</li> <li>・城南の児童館は、なかなか環境がいい。そういういいところを真似して改善できるようにしていきたい。</li> <li>・子どもへのサービス、子育て支援には、より力を入れていきたい。</li> </ul> <p>【子ども支援課 追記】</p> <p>平成29年度の指定管理施設を除く公設児童館（10館）の一般需用費予算年額約120万円のほか、備品購入費約50万円、施設修繕費約100万円程を、遊具の購入や施設の修繕に充てている。</p>	健康福祉局	<p>子ども支援課</p> <p>東部まちづくりセンター（東部児童館）</p> <p>秋津まちづくりセンター（秋津児童館）</p> <p>城南まちづくりセンター（城南児童館）</p>
8	<p>(1) 新しい市民病院の診療科について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・私は20数年来、ずっと癌患者として市民病院を受診していた。</li> <li>・乳腺外科と泌尿器科を市民病院で受診していたが、現在2つの病院に分かれて通っている。</li> <li>・市民病院ができて一つにまとめられるとうれしいが、診療科目が減ると聞いている。周産期母子のことがよく新聞記事になっているが、がん診療への力の入れ具合が今後どうなるのか心配で、そこをお聞きしたい。</li> </ul>	<p>【市長】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・診療内容や病床数の見直しは、熊本県で全体的にやっていく地域医療構想があり、それに基づいて全体的に適正化していかなければならない。その中でも、できるだけ診療の状況、地域の医療をきちんと守るという意味で、市民病院をこれから作っていく。</li> <li>・今、中身についてはいろいろとシビアに検討している。</li> <li>・できるだけ患者の皆さんのニーズに合うようにと思っているが、診療科目の全部ができるということは難しいのかなと思っている。</li> <li>・熊本市内、都市圏域内にある大きな拠点病院が機能を分担しながらやっていくことが必要。</li> <li>・それと同時に、周産期母子医療も含めて、熊本市市民病院に関して言えば、熊本大学の病院あるいは医学部と、より高度な医療をできるように連携していく。</li> <li>・自治体病院の政策医療として、必ずしも儲かる医療ばかりをやれるものではなく、民間でできないようなところを自治体病院としてやっていくところもあり、総合周産期母子医療センターとして特化していくというところもご理解いただきたい。</li> </ul>	病院局	新病院建設課

「ドンドン語ろう！ in東部」 平成29年11月17日 東区役所3階すこやかホール 意見交換内容 参加者：23名

No.	ご意見	回答	局	担当課
9	<p>(1) 江津湖花火大会の開催時期について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・花火が復活し、非常にうれしい。</li> <li>・8月開催に戻ることはあるのか。</li> </ul> <p>(2) 職員の接遇について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ある公民館で使い方が分からず、どういう目的とか、使用方法とかをお尋ねたところ、犯人扱いのような対応を受けた。問い詰められ、そこにいるのがいたたまれなくなり途中で帰った。</li> <li>・市民目線での懇切丁寧な対応をしてほしい。</li> </ul>	<p>【市長】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・花火大会を再開した時は8月末に実施した。</li> <li>・今年は江津湖の護岸整備ができなかったということがあって10月に開催した。アンケートをとると、秋がいいという方も少し出てきている。</li> <li>・今後は、開催時期も含め、できるだけ皆さんからの意見を聞きながら、他の行事と重ならないように配慮しながら考えていきたい。</li> </ul> <p>【市長】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・今、接遇を徹底的に改善をしようということに取り組んでいる。</li> <li>・新しく改革プロジェクト推進課という部署を作って、例えば繁忙期の窓口待ち時間の改善などに取り組んでいる。</li> <li>・接遇では、航空会社並みの接遇にしろと言っている。航空会社と同じようにしろということではなく、相手に不快感を与えないということ。親切にして話を聞く、受け止める態度、そういう接遇のマナーも含めて見直すことをやっている。</li> </ul>	<p>経済観光局</p> <p>総務局 政策局</p>	<p>イベント推進課</p> <p>人材育成センター 改革プロジェクト推進課</p>
10	<p>(1) 尾ノ上8町内における公園の整備について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・8町内は準工業地帯で昨年の地震の際に、逃げる場所となる空き地が全くなかった。</li> <li>・子どもたちも道路や駐車場で遊んでいる。</li> <li>・高齢者など歩くのが困難であったりという人の、一時避難場所がないということとは非常に不安</li> <li>・尾ノ上校区は、錦ヶ丘公園がとても広いので、住民に対しての公園が十分に満たされている校区と認識されているため、新たな公園が整備されない。</li> <li>・コミュニティとして力をつけるためにも、集まる場所が欲しい。</li> </ul>	<p>【市長】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・公園は面積などの基準を設け、設置している。</li> <li>・公園が全くない校区もある。そういったところでは、例えば広場を少し利用できないかという地域もある。</li> <li>・財政的な事情、土地もなかなか入手できない等、さまざまな事情があるが、尾ノ上8町内については、持ち帰らせていただいてどういう可能性があるのか、少し、考えさせてもらいたい。</li> </ul> <p>【公園課・東部土木センター】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・用地の選定や確保、無償での借地同意の取り付けや維持管理など地元にご尽力いただくことにはなるが、「まちの広場」といった制度もあるのでご検討いただきたい。</li> </ul>	<p>都市建設局</p>	<p>公園課</p> <p>東部土木センター河川公園整備課</p>

「ドンドン語ろう！ in東部」 平成29年11月17日 東区役所 3階すこやかホール 意見交換内容 参加者：23名

No.	ご意見	回答	局	担当課
11	<p>(1) ボランティア活動の支援</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・東区を中心に、子育て支援活動、施設でマッサージ等のボランティアを行っている。</li> <li>・震災後は、災害ボランティアの募集をたくさん見かけたが、社会福祉協議会からのお知らせが届かないことが多い。社会福祉協議会のホームページを確認しているが、災害ボランティアなどのような、大きなボランティアの募集しか掲載されていない。</li> <li>・市には地域担当職員の方もいるということなので、社協との連携により、大規模ボランティアだけではなく、その地域に合った小さなボランティアの支援をしてほしい。</li> </ul>	<p>【市長】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・是非、地域担当職員と顔見知りになっていただき、対応させてもらいたい。</li> <li>・今からは、大きな団体というよりは校区の中、あるいは地域の中で活動していたくボランティアと一緒に地域活動ができると、今後のまちづくりの人材にもつながってくると思う。</li> </ul> <p>【地域活動推進課 追記】</p> <p>校区住民によるニーズ調査やボランティアコーディネート等が実施されれば、効果的な取り組みができるため、今後は市や市社協と連携しながら、地域に対して「地域災害ボランティアコーディネーター」の養成・育成を検討していきたい。</p> <p>【健康福祉政策課 追記】</p> <p>熊本市社会福祉協議会のホームページには、災害などに限らず、ボランティア希望者とボランティアを必要とする人それぞれが登録し、その連絡調整を社協が行っていることが掲載されているので、参考にしていきたい。</p>	市民局 健康福祉局 東区役所	地域活動推進課 健康福祉政策課 東部まちづくりセンター
12	<p>(1) 地域活動の担い手の育成について</p> <p>中学校の、おやじの会やPTAに参加したことをきっかけに、地域活動のお手伝いをするようになった。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・県のまちづくり夢創造会議というものに参加し、地域について学んだ。</li> <li>・その後、熊本市が自治基本条例を作る際に、前の市長が作った市民大学に参加し、自治や、市役所の役割などについて学んだ。市職員と一緒に学べたことも良かった。</li> <li>・若い人がまちづくりに入っていくためにも、市民が勉強する機会を是非作っていただきたい。</li> </ul>	<p>【市長】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市民大学など、学ぶ場というのは非常に大事。</li> <li>・みんなでまちづくりの基本を勉強するという、機会を考えていきたい。そして、是非、若い方が参加できるような機会としたい。自分たちができることをできる分だけ、少しずつ関わっていくということが、地域づくりのために大事。</li> </ul>	市民局	地域政策課
13	<p>(1) 安楽死について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・これから超高齢社会を迎えるため、安楽死という方法があってもいいのではないかな。</li> </ul>	<p>【市長】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・安楽死を認めますというようなことは、なかなか言えない。</li> <li>・いろいろな病気があり苦しいことがあるが、少しでも希望を持って生きていけるように、できるだけ多くの人と支え合うことが大事。</li> <li>・つらい思いをしている人の気持ちに共感し寄り添える社会を作っていきたい。</li> </ul>	健康福祉局	こころの健康センター

「ドンドン語ろう！ in東部」 平成29年11月17日 東区役所3階すこやかホール 意見交換内容 参加者：23名

No.	ご意見	回答	局	担当課
	<p>(1) 校区単位のまちづくり活動への支援について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域とは小学校区単位を主とすることにされているが、実際のまちづくり活動は町内単位で行われている。</li> <li>・市からの補助金が校区には20万円。町内では1世帯あたり600円程で、結構な額になっている。</li> <li>・校区で取り組む場合、各町内からの補助をもらわないとできない。校区単位をするのであれば、校区に対する補助を充実させる必要がある。</li> <li>・東町も校区の取り組みに理解を得られず、校区自治協議会から離脱した町内がある。</li> </ul>	<p>【市長】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・町内がいちばん身近な単位であり地域であるという考えは、そのとおりかと思う。</li> <li>・一方で、町内自治会の加入世帯数が減っているなど、さまざまな地域がある。</li> <li>・地域によって、町内活動が活発な地域もあれば、町内活動よりも校区全体での活動をしている校区もあり、多様である。</li> <li>・基本単位は小学校区だが、地域性を大事にしていっている。画一的に校区ごとと同じような組織を作るのではなく、地域性に合わせていくことが大事。</li> </ul>	市民局	地域活動推進課
14	<p>(2) 校区防災連絡会推進に係る区市連携について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・第二高校は、市が考えている校区単位ではなく、大きいエリアを考えている。市と認識が違う。</li> <li>・市と県がうまく調整ができていないのではないかと。調整していただきたい。</li> </ul>	<p>【市長】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・県立高校がある場合、県の教育委員会だからということではなく、そこは地域の大きな一つの拠点である。地域の協力により学校が成り立っているのだから、対立しないように、行政の縦割りの弊害がそのようなところに現れないように、エリアについて考えたい。</li> </ul> <p>【危機管理防災総室 追記】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市内の県立高校についても指定緊急避難場所に指定していることから、市から避難所担当職員を各3名配置し避難所運営委員会の設立を推進しているところ。</li> <li>・また、本市では熊本県が進める防災型コミュニティ・スクールと目的や体制等も同じであることが望ましいと考えていることを、県高校教育課を通じ各学校長へも周知したところである。</li> </ul>	政策局	危機管理防災総室
	<p>(3) 避難所運営マニュアルの配布について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・避難所運営マニュアルの中身を理解して、各校区でマニュアル作りを進める必要があるため、マニュアルを校区や地域に配布してもらいたい。ホームページの中に置いておくだけでは周知したことにはならないのではないかと。</li> </ul>	<p>【市長】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・避難所運営マニュアルの配布についてのご意見は、参考にさせていただきたい。配布を検討するなど、皆さんの役に立つようにさせていただきたい。</li> </ul> <p>【危機管理防災総室 追記】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・避難所運営マニュアルの事前準備編、避難所開設運営編、様式集を、平成30年2月から各区役所総務企画課にて配布している。</li> </ul>	政策局	危機管理防災総室
14	<p>(4) 地域コミュニティセンター利用に係る土木センター駐車場利用について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・東町地域コミュニティセンターの駐車場が非常に小さい。幸い、東町コミセンは、土木センターの隣にあるので、土木センターの駐車場を一時、利用させていただきたい。</li> </ul>	<p>【市長】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・例えば、土木センターの状況によっては難しいところもあるかもしれないが、できるだけ使えるところは提供したい。気軽に借りて欲しい。</li> </ul> <p>【東部土木センター総務課追記】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自治会長とお話して、施設内の駐車場を安全に利用していただくためのルールづくりを行い、駐車場をご利用いただいている。</li> </ul>	都市建設局	東部土木センター総務課

「ドンドン語ろう！ in東部」 平成29年11月17日 東区役所3階すこやかホール 意見交換内容 参加者：23名

No.	ご意見	回答	局	担当課
15	<p>(1) 通学児童の通学時の安全確保について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・東町地域コミュニティセンター前の道路は、東町校区6町内の子どもたちが通学路として使用しているが、近年、車の交通量が多くなっている。</li> <li>・原因は2点あり、1点目が、新外秋津線の中途半端な着工。</li> <li>・もう一点目が東部土木センターの東側の住宅地開発。ここの住民が、通勤などで車を使用している。</li> <li>・道路の速度規制に関係なく、早いスピードで車が通る。子どもたちは、車道は危ないので、側溝の上や駐車場を歩いて通っているのが実情。</li> <li>・2つについて、対策をどう考えているのか。</li> </ul>	<p>【市長】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもの安全にかかわることであるので、改善について考えていきたい。</li> </ul> <p>【東部土木センター所長】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・昨日、道路課職員と警察の規制係長で具体的な説明をした。</li> <li>・最近交通量が増えたと実感している。また、スピードを出して車が通っている。</li> <li>・新外秋津線は残念ながら、現在のところ事業化のめどが立っていない。</li> <li>・地区計画による宅地化の影響でも交通量が増えてきていると感じる。</li> <li>・交差点マーク表示、白線を引きなおし、カラー舗装等、土木センターでできることは随時やっていきたい。</li> </ul> <p>【市長】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・物理的な改善はなかなか簡単なことではないが、そのような場合は、県警、交通指導員と協力して安全対策をとり、子どもたちの通学時の安全を行うことは最優先の課題である。これからも頑張っていきたい。</li> </ul>	<p>都市建設局</p> <p>教育委員会</p>	<p>道路整備課</p> <p>東部土木センター道路課</p> <p>健康教育課</p>